

子育てを

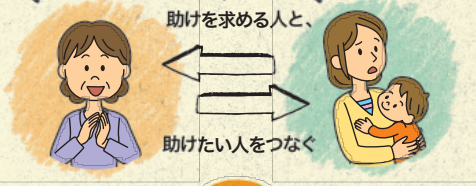
地域で支えよう

ファミリー・サポート・センター事業

子どもの送迎や一時預かりをお願いしたいのに、頼れる人が近くにいない……そんなときに心強い、地域の子育て相互援助活動の仕組みを紹介します。

子どもたちが大好き！

園のお迎えだけ助けがほしい！



「ファミサポ」って

ファミリー・サポート・センター事業は、平成6年に労働省（現・厚生労働省）の補助事業の一つとして始まり、平成27年に内閣府の「子ども・子育て支援新制度」で制度化された有償ボランティアのマッチング事業です。武蔵野市では平成30年1月にスタートし、今年1月末までに市内540世帯のファミリー会員と、109人のサポート会員が登録、活動しています。



送迎の様子

ママ・パパの味方は
地域にたくさんいます

「子どもの朝の登園だけ付き添ってほしい」「2時間だけ子どもを預けたい」など、子育て家庭の「あと少しの悩み」を地域で助け合っていくための仕組みがファミリー・サポート・センター事業（通称・ファミサポ）です。

センターは、援助を受けたい「ファミリー会員」と、援助してくださる「サポート会員」の情報をマッチング。話し合いを通じて両者が満足できる形での援助を実現します。

一般企業による保育サービス事業とは異なり、「困ったときはお互いさま」の気持ちで人と人がつながる有償ボランティアです。申し込み、情報のマッチング、顔合わせと、援助の実施まで少し時間がかかる面もありますが、その場限りではない地域の温かみを感じられる事業として、少しずつ浸透してきています。

共働きや核家族が珍しくない現代だからこそ、地域のつながりを深め、子育てを豊かにする手段の一つとしてつくられた、ファミサポの仕組みと魅力を紹介します。

「ちょっと困った」を地域で助け合える安心感



3 サポート実施までの おおまかな流れ

登録から支援開始までの流れは、ファミリー会員とサポート会員で少し異なっています。それぞれの立場で支援実施までの流れをまとめました。



ファミリー会員

サポート会員

● 会員登録

センターへ入会申込書を提出します。援助の希望内容などについて職員と確認し、ファミリー会員の登録を行います。

● 講座受講と会員登録

サポート会員に必要な知識と技術を学ぶための講座を受講してください。この講座修了後にサポート会員の登録を行います。

● 援助の要望を伝える

登録後、要望に合ったサポート会員をセンターが探し、候補となったサポート会員との打ち合わせ日を設定します。

● 紹介を待つ

ファミリー会員の要望を受け、条件の合うサポート会員へセンターが連絡します。実施可能であれば打ち合わせ日を設定します。

● 打ち合わせ

ファミリー会員・サポート会員・センター職員の3者で話し合います。援助内容の細かい希望も確認し、両者が了承すれば、援助活動に入ることができます。

● 援助の当日

援助の実施では当日の子どもの様子や健康状態などを詳しくサポート会員に伝えてください。援助後は、子どもの様子をサポート会員が報告します。

● 支払い

活動報告書にサインをして、あらかじめ決めてあった謝礼金をお支払いください。

● 報告書を提出

活動報告書を記入し、センターに提出してください。

1 どうやって利用するの？

会員登録が必要です。ファミリー会員の登録は入会申込書(ウェブサイトからダウンロードも可)に記入し、センターへ提出してください。サポート会員はセンターが開催する養成講座を受けていただく必要があります。

ファミリー会員

援助を受ける方です。市内在住の生後6カ月から小学6年生までの子どもがいる保護者の方が登録できます。

ウェブサイトではさらに詳しく説明しています

サポート会員

原則として市内在住の、心身ともに健康な20歳以上で、センターが実施する講座を受講した方が登録できます。

センターホームページ

上の2次元コードまたは himawarimama.org/famisapo/
市ホームページ www.city.musashino.lg.jp/



2 どんなことを 助けてもらえるの？

ファミサポによる援助には、いくつかの決まりがあります。原則として、サポート会員1人が預かることができる子どもは1人までで、簡単で長時間に及ばない内容に限られます。

☑ 援助できる例

- ・ 保育園、幼稚園、小学校などへの送迎
- ・ 保育施設の開始前または終了後の預かり
- ・ 冠婚葬祭や行事などの際の預かり
- ・ 保護者が病気のときの預かり
- ・ 保護者がリフレッシュしたいときの預かり

きちんと話し合ってから援助開始



☒ 援助できない例

- ・ 保育施設のような長時間の預かり
- ・ 保育施設からの緊急呼び出しへの対応
- ・ 自家用車での援助
- ・ 入浴、沐浴、掃除など家事援助や投棄
- ・ 学習指導や団体保育

援助の実施前には、ファミリー会員・サポート会員・センター職員の3者で援助活動の内容や謝礼金支払い方法について話し合いを行います。

ファミリー会員の実体験から

頼もしい仕組みだと思っても、我が子を預けるとなれば「大丈夫かな」と心配になってしまうもの。実際にサポートを依頼したファミリー会員は、どう感じたのでしょうか。率直な感想を聞きました。

どんな人が来てくれるんだろう？



ファミリー会員 佐田さん

正直、最初にセンターへ電話で相談することにハードルを感じましたが、相談してみて良かったです。電話だけでやることもできますし、利用を迷っている方は少しでも勇気を出してみてください。



「顔合わせまで、子どもの反応が心配でした」

去年の10月から、週1回、サポートの方が娘を保育園までお迎えに行き、近くのピアノ教室に送ってくれています。

ボランティアで活動してくださるサポート会員はきっと熱心な方が多いだろうとは思っていました。でも、知人に利用者がいなかったし、良い方でも子どもが抵抗感を覚えたらしらどうしよう

とか、いろいろ不安でした。

顔合わせをしたら、とてもすてきな方で、子どもも送迎を楽しみにしている様子だったので安心しました。

今ではサポートの方と知り合えて本当に良かったと思います。下の子が大きくなったときも、またお願いしたいと思っています。

ここがポイント

同じ人にもお願いできる

ファミサポでは、打ち合わせをした内容であれば、マッチングした会員同士で直接日程を決めています。毎回同じ方が来てくれるので、子どもたちがなじみやすく、親としても安心できると好評です。



「まるで親戚のように頼れる存在です」

去年の3月ごろから、現在2歳の息子をときどきサポートの方のお宅で預かってもらっています。

息子はとても活発なタイプなので、サポートの方が手に負えないと感じてしまわないか、相談時は心配でした。でも、元気いっぱい遊んでくれる方を紹介してもらえ安心しました。

フリーで仕事をしているので仕事で出掛けるときやパソコン作業に集中したいときなど、気軽に利用できるのは本当にありがたいです。うちの子は、サポートの方の息子さんにたまに会えるのを楽しみにしています。上の子がお稽古で会うこともあり、今では家族ぐるみのお付き合いになっています。

ファミリー会員 中野さん

サポートの方も育児の大変さを経験し、親しみを持って接してくださるのを感じます。だから私も飾らずに悩みを言えるし、まるで近所に親戚がいるような、本当に頼もしい存在です。



ここがポイント

交流会で親睦を深める機会も

ファミサポでは年に1度、ファミリー会員とサポート会員が集まる交流会を開いています。今年1月にはファミリーコンサート「NOBOさんとあそぼう！」を開催。歌あり笑いあいの楽しい時間をみんなで過ごしました。



サポート会員の体験から

他人の子どもを預かる仕事には、大きな責任を伴います。
有償ボランティアであるサポート会員は、どんなことをモチベーションに活動されているのでしょうか。サポートの喜びを聞きました。

私にうまくできるのかしら？



サポート会員 高橋さん

最初の講座では、多様な専門知識を学ぶので、覚えられないかなあと少し不安になりました。でも、活動のメインはお子さんの気持ちに寄り添った支援。子どもが好きな方には楽しい活動だと思います。



「頑張っている親御さんを応援したくて」

週2回、幼稚園にお迎えし2時間ほど預かる支援をしています。ときどき単発的な一時預かりも受けています。

もともと子どもが好きですし、自分も共働きで育児を経験したので、街でつらそうなお母さんを見かけると「十分頑張っているから大丈夫だよ」と言ってあげたくって。でも、他人がいきな

り手助けするのは難しいですね。そこで自分にできることを考え、ファミサポのサポート会員を始めました。

孫の預かりとはまた違った難しさ、責任の重さも感じますが、何より子どもたちがかわいくてこちらがお金を払いたいくらい楽しい時間を過ごさせてもらっています。

ここがポイント 経験したことを定例会で共有

毎月、サポート会員の定例会を開いています。支援活動に1人で当たるサポート会員が悩みや困難を抱えこまないよう、互いの体験と気付きを共有します。また、さまざまなテーマでの勉強会も開き、それぞれのサポート活動のスキルアップにも努めています。



子育ての悩み、心配について解決法を一緒に考えましょう



左からセンターの向井さん、太田さん、上野さん

ファミサポは、市民同士による助け合いの仕組みです。サポート会員側の希望も重要なので、何でも安請け合いはせず、丁寧な話し合いを実施しています。また、営利事業でないため、相談内容に対して適切ならば他事業のサービス紹介も含めた解決方法の提案を心掛けています。漠然とした不安を整理するだけでも役立つかもしれません。子育てでお悩みのことがあれば気軽にご相談ください。

武蔵野市ファミリー・サポート・センター
境南町2-10-24

ご連絡は、☎0422-30-8077（祝日・年末年始を除く月曜～金曜、午前10時～午後5時）へ

サポート会員向けの充実した養成講座

サポート会員になるためには、支援に必要な基礎知識と心構えを学ぶ「サポート会員養成講座」を受講していただく必要があります。講座は年2回（春・秋）開講します。

講座内容

- ・オリエンテーション
- ・保育の心
- ・心の発達と保育者のかかわり
- ・障害のある子の預かり
- ・身体の発達と病気
- ・小児看護の基礎知識
- ・AED講習
- ・子どもの生活へのケアと援助
- ・子どもの遊び
- ・子どもの栄養と食生活
- ・事業を円滑に進めるために



平成30年の講座の様子

（次回の講座開催は5月を予定しています。詳しくはセンターへお問い合わせください）

※ファミリー・サポート・センター事業は、特定非営利活動法人保育サービスひまわりママに委託し、運営しています